

サケ稚魚放流情報 No. 1



平成24年2月21日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7910
E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

表面水温は、平年よりも1～2℃低めです。動物プランクトンは、年間で最も少ない時期で、一部の湾で若干多めですが、平年並～少ない状況にあります。

稚魚のサイズに注意して飼育密度を超過しないように心がけてください。また、沿岸全域で水温が急激に変化し、放流適期が極端に短い可能性があるため、分散放流も視野に入れて飼育管理してください。

1 表面水温

2月6, 22日の表面水温は、宮古湾 **5.3℃** (同期9年平均7.5℃, 前々年同期8.0℃), 山田湾 **5.6℃** (7.4℃, 8.1℃), 唐丹湾 **6.1℃** (8.2℃※7年平均, 8.7℃), 越喜来湾 **6.2℃** (8.3℃, 8.6℃), 大船渡湾 **6.4℃** (7.4℃, 7.7℃) と、各湾とも平年よりも1～2℃, 前々年よりも1～3℃低い値でした。

2 動物プランクトン沈殿量

2月6, 22日のノルパックネット鉛直20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量は、宮古湾 **0.11ml/m³** (同期9年平均0.16ml/m³, 0.13ml/m³) 山田湾 **0.49ml/m³** (0.07ml/m³, 0.10ml/m³), 唐丹湾 **0.09ml/m³** (0.12ml/m³※7年平均, 0.07ml/m³), 越喜来湾 **0.08ml/m³** (0.10ml/m³, 0.20ml/m³), 大船渡湾 **0.72ml/m³** (0.18ml/m³, 0.49ml/m³) でした。例年動物プランクトンが少ない時期ですが、山田湾と大船渡湾では、平年および前々年より多め、宮古湾、唐丹湾ならびに越喜来湾では、平年および前々年並～少なめでした。

3 その他

- ① 平成23年は欠測データが多いため、平成22年と比較しました。
- ② 岩手丸の2月の定線海洋観測調査で、黒埼、トドヶ埼定線の5マイル以東、尾埼定線の5～30マイルに、0～3℃台の冷水が観測されており、今後沿岸部の水温が低下する恐れがあります。※<http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>
- ③ 今後、北上丸による調査を月2回実施し、結果を5月中旬頃までおしらせします。
- ④ 津波の影響で山田湾、広田湾以外の定地水温が得られておりません。いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の衛星画像も参考にしてください。

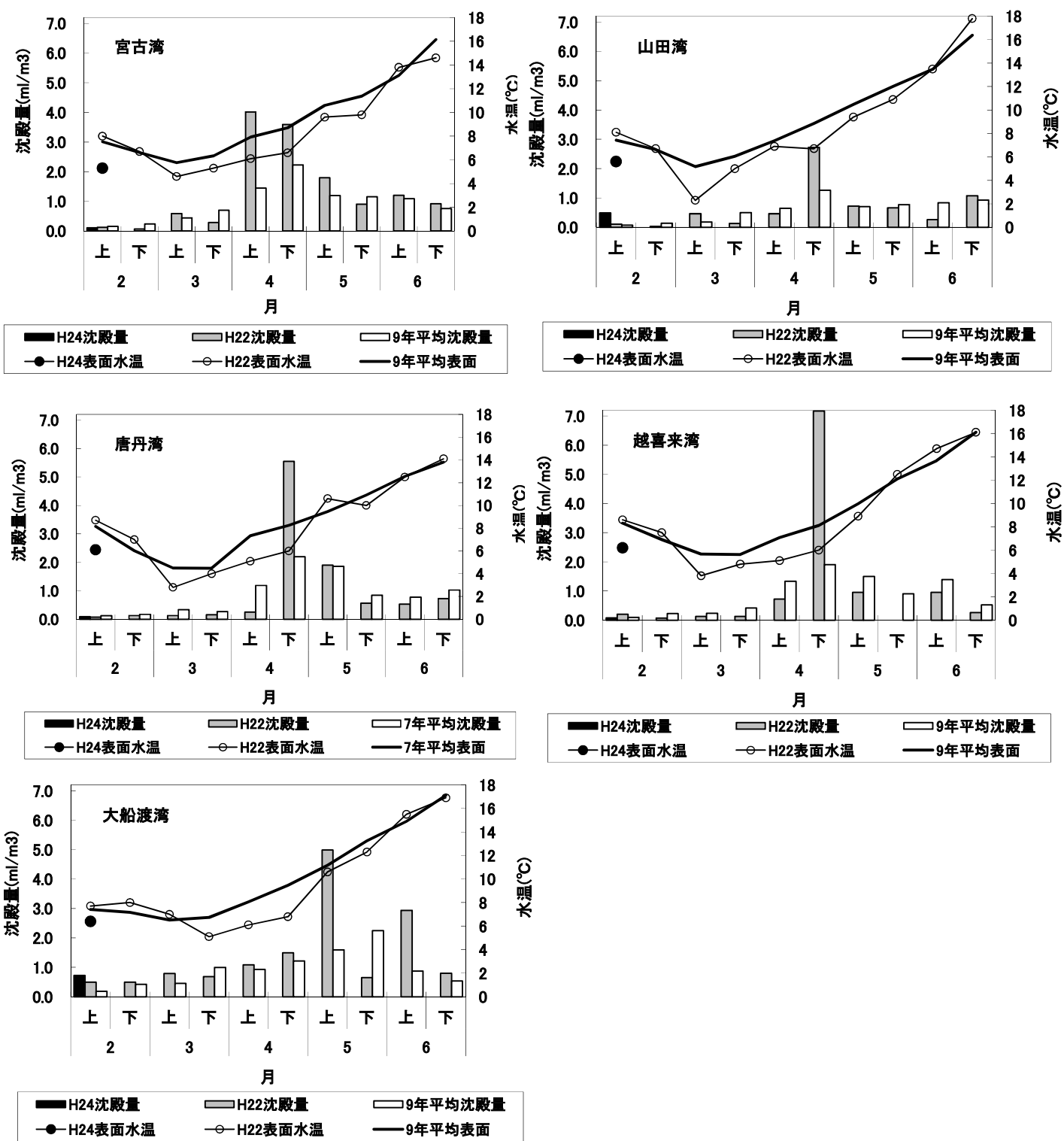


図 5 湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化